

新しい帯状疱疹ワクチン Shingrix 接種開始！

当院で2月からシングリックス(Shingrix)の予防接種ができるようになりました。要予約 092-725-7117



たい じょう ほう しん
50歳を過ぎたら**帯状疱疹**の
予防接種ができます。

日本人成人の90%以上は、
帯状疱疹の原因となるウイルスが
体内に潜んでいて¹⁾、
80歳までに約3人に1人が
帯状疱疹になるといわれています²⁾。



1) 国立感染症研究所: 病原微生物検出情報 (IASR)。「水痘抗体保有状況」

[<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8132-varicella-yosoku-serum2017.html>], 2019年3月13日確認]

2) Shiraki K. et al.: Open Forum Infect Dis. 4 (1), ofx007, 2017

新しい帯状疱疹ワクチン (Shingrix)

- 本剤は従来の「水痘生ワクチン」とは異なり、帯状疱疹を特異的に予防します。昨年より米国、カナダ、ドイツで使用され、高い効果と安全性が認められており、日本ではこの2月から接種できるようになりました。
- GSK(英国グラクソスミスクライン社)からの供給ですが、予想される爆発的な需要に対応できない可能性があるため、現在プレスリリースなどを控えての接種開始です。
- なお、当院は10年以上前から、このワクチンの世界規模の臨床試験に関わっており、卓越した効果と安全性を確認しています。
- 50歳以上の成人が対象で、筋肉内注射を2ヶ月あけて計2回接種です。
- 不活化ワクチン(インフルエンザ等)や生ワクチン(麻疹・風疹等)と異なり、接種後の生体反応(発熱・局所炎症)がやや強い可能性があります。
- 接種は自費負担です。(20,000円 x 2回+税, 計40,000円 + 税)

Shingrix [帯状疱疹ワクチン (生ワクチンとは異なる遺伝子組み換え型、AS01B アジュバント添加)] は、50歳以上の成人を対象とした、生ワクチンとは異なる遺伝子組み換え型のサブユニットワクチンであり、帯状疱疹の予防を可能にします。

このワクチンは、抗原である糖タンパクEとアジュバントシステムAS01Bとを組み合わせたもので、加齢に伴う免疫力の低下の克服を可能にするべく、強力で長期にわたる免疫反応を誘導することを目的としています。

